

来年パリで開かれる、 最大規模のワイン見本市 「ワイン・パリ」

2019年2月11日から13日の3日間、パリ市内のポルト・ド・ヴェルサイユ展示会場でワイン見本市『ワイン・パリ(WINE PARIS)』が開催される。パリで開かれるワイン専門見本市としてはこれまでで最大規模だ。出展企業2000社、入場者2万5000人を予定している。オーガナイズを担当するアデジオン・グループのパスカル・フェランティさんに見どころや概要を聞いた。

——『ヴィニシュッド (VINISUD)』と『ヴィノ・ヴィジョン (VINO VISION)』が合併して新しいワイン見本市『ワイン・パリ (WINE PARIS)』が開かれることになった経緯を教えてください。

フェランティ 1994年から開催されている『ヴィニシュッド (VINISUD)』はラングドック、ルーション、プロヴァンス、ヴァレドローヌ、コルシカなどフランス南部の生産地域とスペイン、イタリア、ポルトガルなど地中海沿岸地域のワイン生産国が一堂に会するプロ向けのワイン見本市として注目されています。一方、昨年からは始まった『ヴィノ・ヴィジョン (VINO VISION)』はシャンパーニュ、ブルゴーニュ、ロワール、アルザスなどフランス北部のワイン地域を対象としたワイン見本市です。この二つの見本市を合わせ、フランス全土のワイン産地を同時に紹介することでさまざまな相乗効果が生まれると考えました。



前回の『ヴィノ・ヴィジョン (VINO VISION)』
『ヴィニシュッド (VINISUD)』の会場風景



アデジオン・グループの責任者、
パスカル・フェランティさん

また、これまでフランスのワイン見本市は生産地に密着する形で開催されてきましたが、アクセスが容易なパリで開催することで別のインパクトを持った催しになるのではないかと考えています。私たちが担当し2018年10月に開催した世界最大規模の食品見本市「SIAL」の入場者は34万人に達し、そのうち80パーセントが国外からの来訪者でした。パリの持つ顧客吸引力は強力です。

さらにパリは世界最大のワイン消費地で世界のワインのキャピタルです。ワイン専門見本市の開催地としてパリは大変ふさわしいと思います。

——どのような方たちに出展の要請をしていますか？

フェランティ 主にフランスのワイン生産者に呼びかけています。もちろん、フランスだけでなく、これまで『ヴィニシュッド』に参加しているスペイン、イタリア、ポルトガルにも出展を依頼しており、スペインはISEXが、イタリアはICEが中心となってナショナル・パビリオンを設営します。さらに、クロアチア、リビアなどからも出展申し込みが入っています。強調したいのは、この『ワイン・パリ』は国際的なブランドを展開する大企業中心ではなく、各地域に根差した生産家、栽培家を紹介することに主眼を置いていることです。「テロワールに根差したサロン」「フランスのワイン産地の多様性を理解してもらうサロン」「オリジンを大切にするサロン」であり、それを保証するために各地域のワイン委員会が主催団体のメンバーとして名を連ね、強固な

パートナーシップを築いています。

例えば、アルザスワイン委員会 (CIVA) は次回の見本市でアルザスのドメヌの共同出展ブースを兼ねて250㎡の独自のパビリオンを設営することになっています。また、ブルゴーニュワイン委員会(BIVB)も今年開催された『ヴィノ・ヴィジョン』の展示ブースの3倍のスペースを予定しています。さらに、ボージョレ (UIVB) はクリュ・ボージョレーの再評価を訴えるために『ワイン・パリ』に多くのドメヌを送り込む予定で、パイヤーにとって新しい製品の発掘のチャンスになると思います。

——海外からの出展状況はどうですか？

フェランティ 10月末時点での出展申し込みは約1400企業。最終的に2000企業を見込んでいます。そのうち海外出展企業は15パーセント程度になるでしょう。

ワイン見本市として『プロヴァイン』がリーダー的な地位を確立しつつあることを知っていますが、しばしば人間的なアクセスの限界を超え、巨大化しすぎているという声を聞きます。私たちは、あまり入場者がストレスを感じない程度の規模にとどめたいと考えており、出展者ブースも地域的にまとめて配置し、できるだけ入場者の負担を軽減するよう配慮するつもりです。

——会期中には、いろいろなイベントも企画しているのでしょうか？

フェランティ これまでの見本市で培ってきた経験を基にして、オープンスペースでのフリーテースティング、テーマ別、解説付きのマスタークラス、生産、販売現場の話題をテーマにした講演会などを予定しています。具体的な内容はホームページに掲載しますのでぜひチェックしてください。

また、パリはガストロノミーの都であり、各出展者が見本市会場の外でさまざまな料理とワインの組合せを楽しむ催しを開催すると思います。

——今後、『ワイン・パリ』は毎年定期開催されるのでしょうか？

フェランティ 『ワイン・パリ』の来年2019年の開催と2020年の開催が決定しています。一方、『ヴィニシュッド』については、ラングドック、ルーションの生産家を中心に引き続き地元で開催したいという意向が強いです。まだ、具体化していませんが、開催時期、コンセプトを変えて新たな見本市を開催することになるかもしれませんね。

プロを対象としたパリで初めての国際ワイン見本市を開催するために
ヴィニシュウドとヴィノ・ヴィジョン・パリが合流

世界の ワインの 中心地 パリで お会い しましょう！



**WINE
PARIS**

VINISUD  vinoVISION

11-13
 02
2019

ポルト・ド・ヴェルサイユ
見本市会場

主催

COMEXPOSIUM

ADHESION
group

プロを対象とした見本市

www.wineparis.com

以下のコード番号で登録した方には無料で入場券を 発行いたします。: WKWP19